

頁	箇所	誤	正
1	○委員会組織 ○委員会名簿	記載なし	古関 隆章 東京大学大学院 工学系 研究科 電気系工学専攻
10	○第 3-2-3 表 L T C 切換方式別の事故数および発生率 ○ L T C 全体の事故率	0.38	0.06
13	○第 3-3-1 図 ○タイトル	酸化スラッジスラッジ平編線の点検目安例 (FK-F, MR F 形 L T C の場合)	酸化スラッジ平編線の点検目安例 (FK-F, MR F 形 L T C の場合)
31	○第 1-5-4 図 油面計の構造 ○油面計の部位名称	ステーチマグネット	ステータマグネット
40	○第 5-1 表 事故の概要 ○ D 社 77kV1979 年製その他付属品・関連装置の形式	(LRY-VS2)	(不明)
42	○第 5-1-1 図 抵抗式 (アーク接点) L T C の年間事故発生状況 ○凡例と単位	事故	事故率
		($\times 10^{-3}$ 件/台/年)	($\times 10^{-3}$ 件/台・年)
42	○第 5-1-2 図 抵抗式 (アーク接点) L T C の年間障害発生状況 ○凡例と単位	事故件数	障害件数
		事故 ($\times 10^{-3}$ 件/台/年)	障害率 ($\times 10^{-3}$ 件/台・年)
46	○ 5-2 抵抗式 (真空バルブ) 負荷時タップ切換器 ○ (2) 障害の調査結果 (a) 障害の発生状況 文中	最大 $2.68 (\times 10^{-3}$ 件/台・年) と比較した場合やや高い傾向を示している。	最大 $2.50 (\times 10^{-3}$ 件/台・年) と比較した場合やや高い傾向を示している。
70	○第 1-1-14 図 各製造者のアンバランス消耗管理 ○各製造者のアンバランス消耗管理グラフ X 軸の凡例	第一抵抗接触子-第二抵抗接触子消耗量	第一抵抗接触子-主接触子消耗量
82	○第 1-1-48 図 銀ロウ付けの状況 ○銀ロウが少ない場合	軟鋼線	軟銅線
		●●	(削除とする)

以上

負荷時タップ切換装置の保守・点検ガイドライン

負荷時タップ切換装置の保守・点検高度化 専門委員会

委員会組織

委員長	日高 邦彦	東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻
副委員長	小林 隆幸	東京電力(株) 電力流通本部 工務部
委員	末廣 純也	九州大学 大学院システム情報科学研究所 電気電子システム工学部門
	古閑 隆章	東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻
	早川 直樹	名古屋大学大学院 工学研究科 電子情報システム専攻
	濱田 昌司	京都大学 電気工学専攻生体機能工学分野
	森田 巧一△	電気事業連合会 工務部
	秋野 良平○	〃 〃
	坂野 成人△	日本電機工業会 技術部
	鈴木 彰○	〃 〃
	八島 政史	(財)電力中央研究所 電力技術研究所
	家木 健治△	北海道電力(株) 工務部 変電グループ
	伊賀 司○	〃 〃 〃
	平野 仁司△	東北電力(株) 電力流通本部 電力システム部
	近藤 文男○	〃 〃 〃
	平 俊朗	東京電力(株) 電力流通本部 工務部 変電グループ
	太田 啓雅△	中部電力(株) 流通本部 工務部 発電変電グループ
	豆谷 幸弘○	〃 〃 工務技術センター 技術グループ
	見谷 正男△	北陸電力(株) 電力流通部 変電チーム
	福光 浩○	〃 〃 〃
	佐藤 正△	関西電力(株) 電力システム技術センター 変電グループ
	井村 肇○	〃 〃 〃
	岡永 正△	中国電力(株) 流通事業本部 変電担当
	神田 徹△	〃 流通技術センター 保全技術課
	桂 哲也○	〃 〃 〃
	鈴木 雅士△	四国電力(株) 電力輸送本部 送変電部 変電グループ
	尾田 牧弘△	〃 〃 〃 〃
	藤田 京一○	〃 〃 〃 〃
	岡松 宏治△	九州電力(株) 電力輸送本部 工務部 変電グループ
	大岩根 誠○	〃 〃 〃 〃
	仲尾 理△	沖縄電力(株) 電力本部 電力流通部 変電課
	横田 哲△	〃 〃 〃 〃
	森 伊佐久○	〃 〃 〃 〃
	野阪 直人	電源開発(株) 水力・送変電部 送変電室 変電グループ
	小坂田 昌幸	(株)東芝 電力流通システム事業部 電力変電技術部
	五十嵐 和巳	(株)日本 AE パワーシステムズ 変圧器事業部 中形変圧器ビジネスユニット
	谷ノ内 健太郎	三菱電機(株) 系統変電システム製作所
	藤 富康彦△	(株)ダイヘン 大形変圧器事業部 技術部
	和田 信吾○	〃 電力機器カンパニー 大形変圧器事業部
	佐藤 広人△	(株)高岳製作所 小山工場 変圧器2部
	栗山 太○	〃 〃 〃
	永田 徹	愛知電機(株) 電力事業部 変圧器技術部